

- ・ストップ温暖化一村一品大作戦全国大会 2008 (杉浦 良)
- ・お知らせ (イベント、体験実習他)
- ・ストップ温暖化全国大会報告
- ・太陽と緑の会エコハウスのしくみ
- ・スタッフ雑感 (小野 裕太郎)
- ・ご支援下さった皆様 / 編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

2008年2月 124号

－「ストップ温暖化一村一品大作戦全国大会 2008」－ 杉浦 良

昨年12月までに各都道府県で、ストップ温暖化大作戦と称して、地球温暖化防止の取り組みに秀でたところが表彰されました。そして1074件の応募から47件の代表が選ばれました。今年2月9日東京丸ビルにて、47都道府県代表による全国大会が行われ、最優秀賞や金賞、銀賞、銅賞、特別賞が選ばれました。私と木内工務店代表の木内さん2人のデコボココンビで頑張りましたが、上位入選とはなりませんでしたが、しかし昭和3年生まれのロートル1級建築士と、チョビ髭のオッサン2人組は、東京駅前の皇居を背景にした丸ビルホールで、充分インパクトのある発表ができたこと、自画自賛しております。市町村あげての大規模な取り組みとは違い、小さな団体の草の根的な取り組みに、これだったら私たちでも真似ができるのではと、ハードルの低さと確実さが売り物です。書類審査とパネ

ル展示と4分間のプレゼンテーションそしてインターネットでの投票も審査対象です。日本で初めての取り組みただだけに、いろいろな刺激を頂戴しました。せっかくのコンテストでしたので、ここにプレゼンテーションで使ったシナリオを載せたいと思います。

徳島県代表の「NPO法人太陽と緑の会」杉浦です。太陽と緑の会は「人も物も活かされる街づくり」をテーマに、様々なハンディーを持ったメンバー達と、リユース・リサイクル活動を23年間続けてきました。今から3年ほど前、残念ながら、火災で中心になる活動拠点を失いました。以前と同じ広さの建物を、なるべく早く再建したい、その想いで一杯でした。全国からご支援を



休憩のひととき

頂き再建に取り組みましたが、次第に、叶うことなら、夏はうだるように暑く、冬は寒い、以前のエアコンレスの建物に戻りたくないという、贅沢な願いが膨らみました。エアコンの設置も考えましたが、延 120 坪、2 階建て店舗兼作業所を冷やし暖めるためには、最大で月 30 万円の電気代が掛かります。それだけの運営費を余分に捻出するのは、大変です。エアコンなしで夏はそれなりに涼しく、冬は暖かい建物にならないか？しかし「効果は高いが値段も高い」というのは計画から外しました。そこで、それ以外のアイデアを組み合わせることで「太陽と緑の会自然換気システム」が誕生しました。雨は入らず、換気ができる、地元企業の瓦を使って、夏は熱気を排気します。天井に換気扇を付け、夏は熱気を排出し、冬はスイッチオフで暖かい空気を閉じ込めます。通気窓を設置し、夏は開けて川からの風を通し、冬は閉めて太陽光を取り入れます。徳島といえば「阿波おどり」ですが、踊りの掛け声にならい「使わなソソソ！自然の恵みで地球も人も快適に」をテーマにしました。徳島の自然の恵みとは、太陽を利用した太陽光発電、太陽熱温水器を設置しています。日照時間は全国 8 位です。有名ブランドは吉野川ですが、市内を流れる 138 の川の一つ、鮎を喰う川と書く鮎喰川から、夏は心地よい風が吹きます。間伐材 11 トン分を断熱材として利用しています。地元有志からの無償提供です。森林面積は全体の 75、6%です。このように徳島の自然とオリジナルの換気システム、そして木内工務店さんを始め、地元の人達の協力により、エコハウスが完成しました。昔を知っている方は「今は天国ね・・・！」。又、初めての方は「クーラーのないお店なんて・・・。

でも外に出た時、ムツとする熱気が来ないのはいいわね・・・」と仰って下さいます。計算してみますと、電気使用量が一般の建物の 28 分の 1 と、大幅な CO₂ 削減が実現できました。この自慢のエコハウスを広げるために、当会の機関紙や環境学習によって普及啓発活動を行っています。ここで働くメンバーとスタッフそして私、そして横でパネルを持っている木内工務店の木内さんを、エコハウス 2 階天井から写しました。このように徳島の太陽、風、木を地産地消し、人の情けと知恵を最大限に頂いた結果、人も地球も無理なく、冷やし過ぎない、暖め過ぎない、ええ塩梅となりました。ご清聴有難うございました。

以上のように、これらの言葉と 13 枚の映像を織り交ぜて私が話し、その間、木内さんには壇上最前列でパネルを持っていただきました。その 1.5 メートル前には審査委員長の中島誠之助さん（古美術鑑定家・エッセイスト）たちが黙々と審査されていました。他の 46 都道府県の発表とはチョッピリ違う、派手ではありませんが、朴訥とした、地道な発表が出来ましたことを有難く思います。またこのように発表することができたのも、焼失した建物を、皆さんの支援で再建できた結果だと、しみじみ感じる今日この頃です。



リユース自転車バザー：毎月第 4 日曜日午前 11 時からリサイクル作業所にて開催

お知らせ

温暖化を考える

1月25日、「不都合な真実」上映会開催
(於：県立郷土文化会館・徳島市)
主催：地球温暖化を考えるー市民アクション2008ー徳島(徳島県内30団体が参加するネットワーク)

分野の枠組みを超えたネットワークの広がりによって、上映会には850人が参加し、県内でも関心が高まっていることが伺えました。

太陽と緑の会も同ネットワークに参加しており、同上映会の開催費用の一部として、太陽と緑の会福祉事業団から3万円のカンパもさせて頂きました。

この映画はアル・ゴア氏(元アメリカ副大統領・ノーベル平和賞受賞者)の地球温暖化の危機を訴える活動を描いたドキュメンタリー映画で、2007年アカデミー賞も受賞しています。

研修・講演・会議

1月21日、2月7日、8日
サービス管理責任者研修 代表杉浦出席
(全課程修了(就労))

1月26日、27日、第9回全日本手をつなぐ育成会 小規模作業所/通所授産施設全国連絡協議会 全国大会(高知大会)開催。分科会「地域活動支援センターについて考える」において、当代表杉浦が事例発表者として出席。当会が障害者自立支援法施行の6年前にNPO法人化していた背景、地域活動支援センターに移行した経緯とその可能性についてお話しさせて頂きました。

環境ボランティア交流会実行委員会
(於：徳島県庁会議室)
第2回1月17日 第3回2月13日

体験実習

1月17日～24日 小林さん
1月29日～2月1日 国府養護学校(徳島市) 高等部1年生八木君

見学・ヒアリング

1月27日 井上さん(藍住町) 見学
2月5日 徳島市市民活力開発センター島さん(2月9日、10日開催の第7回とくしまNPOフォーラム分科会発表に関連したヒアリング)
2月5日 大西さん(社会保険労務士)
(3月1日開催の徳島県障害者地域共同作業所連絡協議会研修会に関連したヒアリング)

新スタッフ加入

3年前、太陽と緑の会が火災に遭ったとき、ボランティアとして復興活動に関わってくれた宮浦正浩さん(34才・徳島県出身)が、1月28日から専任スタッフとして活動を開始しました。

何事にも積極的にフットワークよく取り組んでくれており、メンバーさんとの関係も少しずつ作り始めているところです。



月の宮共同生活棟 夕食作り

ストップ温暖化「一村一品」大作戦全国大会 報告

2月9日、10日、ストップ温暖化「一村一品」大作戦 全国大会 2008 が、全国47都道府県の代表が参加のもと、東京で開催されました。

NPO法人太陽と緑の会は徳島県代表として出場、代表の杉浦と、建物の建築を引き受けて下さった元木内工務店社長で正会員の木内さんが、壇上で4分間のプレゼンテーションを行いました。

結果、当会は優秀賞を受賞、徳島の太陽、風、木を生かした太陽と緑の会のエコハウスを、全国にアピールすることができました。

今後も、エコハウスの実践を多くの方に知って頂き、市民レベルで地球温暖化の問題について考え行動するきっかけの一つとして、お役に立つことができれば、と考えております。

3年前、事務局・作業所兼店舗の建物が火災により全焼しました。再建にあたり、なるべくお金をかけずに、エアコンなしで快適に過ごせる建物にすることはできないか、知恵を集めた結果、エコハウスが誕生しました。

今回頂いた賞は、建物の再建にご協力下さったすべての皆様一人一人のものとします。ありがとうございました。

テレビ・新聞での報道について

1月1日 読売新聞（各都道府県代表の紹介）

1月29日 四国放送テレビ フォーカス徳島 530

1月29日 朝日新聞 徳島版

2月6日 徳島新聞

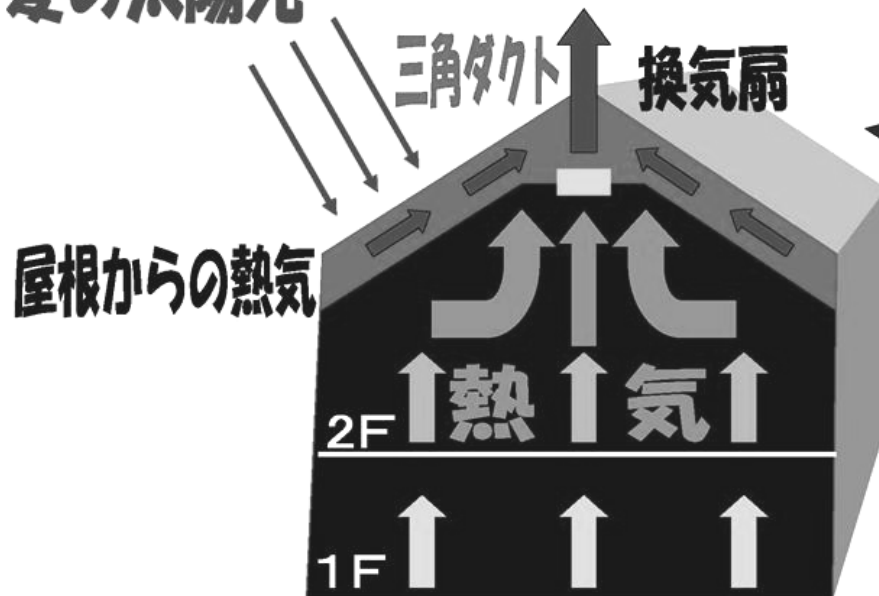
2月10日、11日 徳島新聞（全国大会）



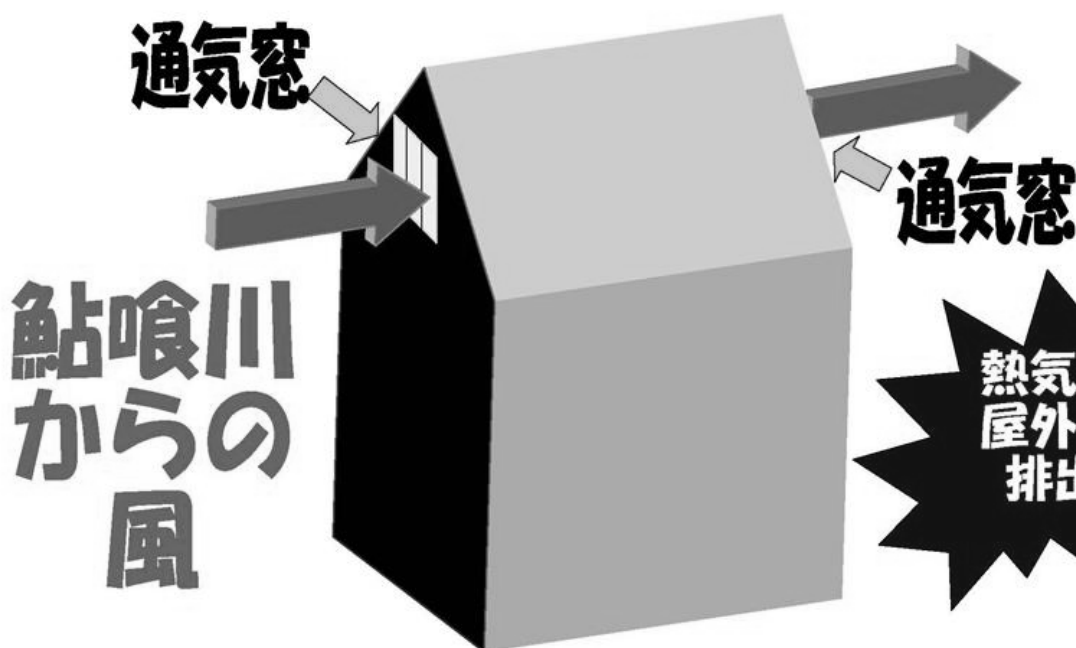
太陽と緑の会新館（エコハウス）
右から代表杉浦、木内さん。左下方は
メンバー、スタッフ、ボランティア

太陽と緑の会エコハウスのしくみ

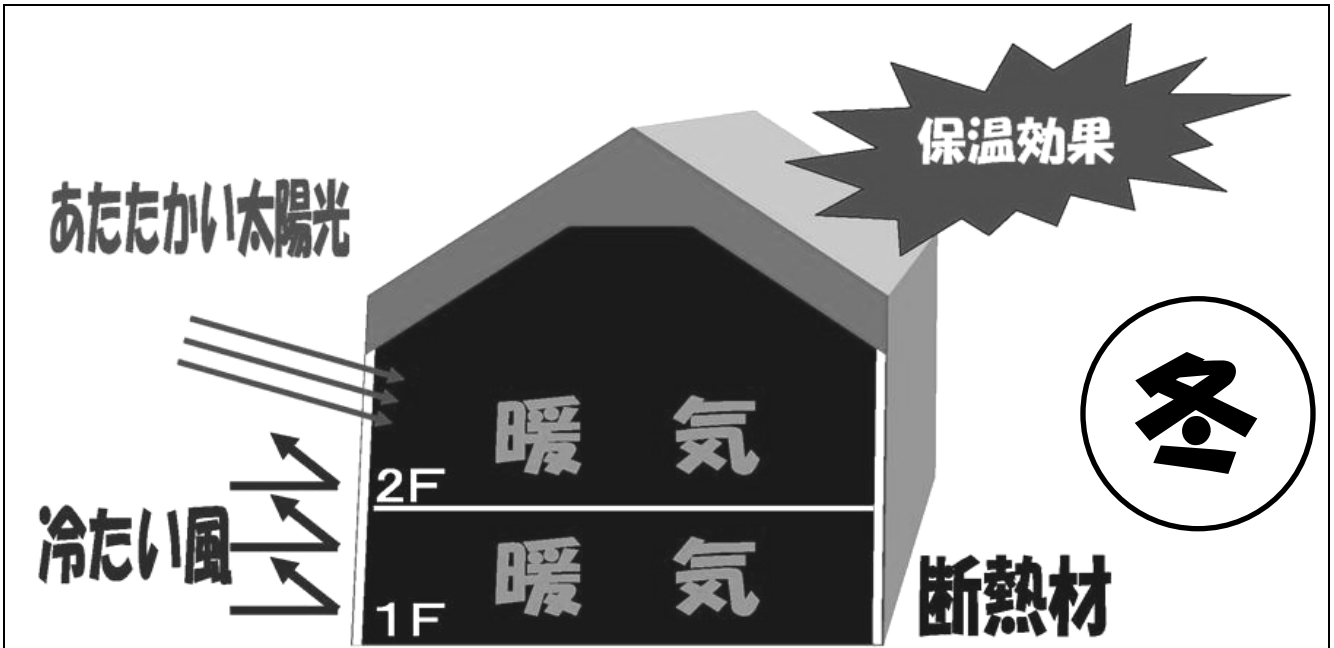
夏の太陽光



通気窓



太陽と風と木が教えてくれた、
冷やしすぎない、暖めすぎない、
「ええ塩梅」
あんばい

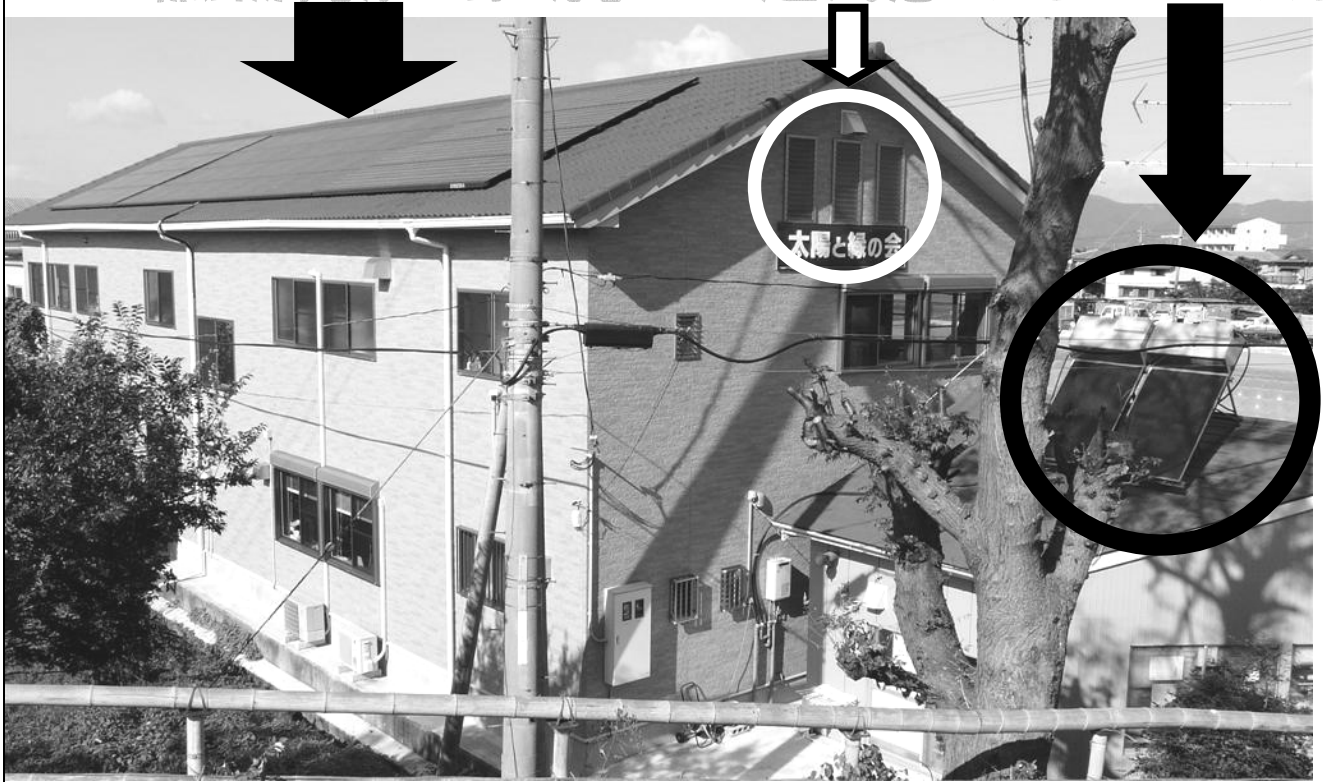


◎夏は9台の換気扇によって建物内部の熱気を外部に排出、冬は断熱材（50mm スタイロフォーム）を活用して保温効果を高めます。隣接して流れる鮎喰川からの風、断熱・保温効果の高い杉の間伐材（11t トレーラー1車分）など、徳島の自然の恵みも活用し、エアコンなしで快適に過ごせる空間を創出しています。

太陽光発電システム(11kw 68枚パネル)
新館使用電力の8割を発電

太陽熱温水器
炊事などに使用

通気窓



特徴

- ① 徳島の **太陽** **風** **木** を活用
- ② 独自の自然換気システム
- ③ **環境教育** とリンク
- ④ 年間を通じて継続的に実践

◎徳島の自然の恵みを活用しました。

- ・太陽（全国8位の日照時間を活用）
- ・風（徳島県には大小138の河川があり、そのひとつの鮎喰川からの風を活用）
- ・木（徳島県の面積の4分の3を占める森林の資源を活用）

◎体験実習・ボランティア、見学に来られた方を対象に、エコハウスを活用した環境学習会を実施。その他リユース品の購入等で当会の店舗を利用する年間1万人以上の市民がエコハウスを体験。CO₂削減について考え行動する人を増やし、将来的なCO₂削減につなげていくことを目指しています。

削減効果

- ① 自然換気システム、断熱材・遮熱材の導入
↓
エアコンを使用しないことによる電気使用量の減少
- ② 太陽光・太陽熱利用による電気・ガス使用量の減少
- ③ 環境教育を通じた知識の普及

CO₂削減

スタッフ雑感

気がつけば僕が徳島にきてもうすぐ丸3年になろうとしています。初めは「青年長期ボランティア」で1年、次にアルバイトとして1年、そしてまた1年と、来た当時19歳だった僕も22歳になりました。火事で焼けた建物の片付けから新館のオープン、その後のより良いお店づくり、使えるものを出来るだけ使ってもらうには、メンバーそれぞれのレベルアップ、など火災からの復活からさらに進み続ける「太陽と緑の会」の一員としてやらせてもらってきました。そんな僕も2月いっぱい徳島を離れることになりました。

思い返すと僕の今まで生きてきた中でとても濃い3年間です。こんなに悩んで、

試されて、大変だけどやりがいを感じる毎日は初めてでした。僕は福祉＝堅苦しいというイメージがありましたがそのイメージを壊すには十分な時間でした。もちろん福祉というものが本来はどういうものかははっきりとはわかりませんが、こういう形もありなんだなぁと感心することばかりです。どうやったら商品が見やすくなるかとか、お店に来ていただいた方に失礼のないようにとか、持ち込み品や回収品を売り場に出すまでの流れとか、あれやこれやと日々考えてその中にメンバーをどんどん巻き込んでいく。メンバー、お客さん、自分、この三角関係が結果的には福祉に繋がっていたのかなぁと勝手に思っています。



機関紙づくり 一人が印刷した紙を一枚ずつ取ってまとめ、もう一人がホッチキスでとじます。

来た当初は「青年長期ボランティア」として1年で地元に戻る予定でしたがそうじゃなくなったのは太陽と緑の会には何か惹きつけるものがあったからです。当時はそれがなんだかイマイチよくわかりませんでした。今考えると、メンバーと関わる中で特別な決まりは特に無く、一緒に冗談を言い合ったりいろいろ意見を話し合いながら、メンバーと一番近いところで作業が出来るというこのスタイルは僕に非常に合ったのかなあと思います。近くで一緒にすることで普段品物の扱いにあまり気を付けないメンバーでも実は細かい整理を頼むとピシッとやってくれたりと意外な発見があったりします。メンバーの可能性を模索するというか良い所を引っ張り出すことに面白味を感じていたんですね。

未成年の最後の年、成人での最初の年を太陽と緑の会で過ごした事にとっても意味を感じます。僕はここが大人としての

出発点です。これからの人生この3年間の経験を生かしていくことで恩返しをしたいと思っています。太陽と緑の会に来て本当に良かった。ありがとうございました。(アルバイト職員・小野)

平成17年4月から青年長期ボランティア、後にアルバイトとして、当会で活動してくれた小野君が、2月末日をもって退職することになりました。

事務局建物が火災で全焼してから新館が再建し事業が軌道に乗るまでの激動の3年間を支えてくれました。

月の宮作業所及び月の宮共同生活棟のサポート、衣料品リサイクル全般、電化製品の動作テスト、不用品の回収、配達、接客など、幅広く動いてくれました。細かい心配りもできる人で、メンバーからの信頼も厚く、退職を惜しむ声も少なくありません。

今後の活躍を願っています。3年間お疲れ様でした。



イラスト：宇津くん



昼食づくり。自立に向けた取り組みのひとつです。

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2007年12月1日～2008年1月31日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付下さった皆様方

吉田哲司、芦田内科、成瀬、山田、堀内、前川、宮本、米田守人、富永美知子、梶本、
(以下郵便振替口座にご入金下さった方 平成19年6月26日～平成20年2月15日)

田中、阿部、大谷、森、榎本、堺、永口、荻野、井内、豊井、佐藤、桧垣、巻島

不用品を回収させて頂いた方々

○徳島市○相原、蔵本、家段、中山、川上、岸本、竹原、徳本、益田、山本、柴田、岡部、藤本、長谷部、金野、森、先川、野尻、豊田、安岡、山下、野鳥の会、宮本、阿部、辰巳、林、カンガルー歯科、長谷部、鈴江、住友、団、川原、川下、森梅、池住、市川、神原、森、桑内、井上、松本、長谷部、中安、石丸、渡辺、前田酒店、林別館、玉井、岸野、犬伏、柿本、猪俣、福見、県設備業協会、川野、三木、熊本、前田、武間、坂東、林、八村、吉田、吉野、藤田、日下、東條、米田、平野、敷地電気、岸登、木村、黒川、高田、徳島大学蔵本キャンパス、田中、高橋、大下、県民活動支援室、後藤、新居、矢野、藤井、内村、豊田内科、田村、吉岡、村川、北島、元木、井上、八木、増田、奥田、福田、美馬、山本、城内、蟻馬、杉本、山田、賀川、内藤、真鍋、鈴江、阿部、横山、堀井、佐々木、出口、近藤、山内、長谷税理士事務所、ワークスタッフ、山西、大和、福田、渡辺、寿賀、熊本、松本、谷川、赤松、河口、坂東、藪原、楠本、川瀬、東條、湯浅、富岡医院、セベヤ、堀内、前川、平井、松浦、浅野、後藤、桑原、丸谷、四宮、富永、林、山田、水原、田中、福島、ワタベリサイクル、北川、森、堤、松下、名本、井口、中安、溝内、辰巳、宮本、三原、平山、中尾、福内、七條、村田、割石、岡本、松本、ケミカル建設、武沢、田中、武内、益岡、斉藤、西条産婦人科、西村、吉岡、田中、ユニオン測量、佐藤、岩田、蔵本、笠谷、篠原、加藤、岡久、糸林、久住、吉田、近藤、大滝、鶴島、原田、増金、勝亀、坂東、後藤田、○小松島市○富田、村田、斎藤、新居、中尾、田上、守田○藍住町○大西、萩原、阿部、川野、藤井、岩本、ちびっこランド藍住園、瀬部、藤川、○北島町○ポーラミサキ、滝、原、結城○石井町○後藤、露口、遠藤、ケアハウスまこと、橋本、榎本、吉城、日野、篠原、綿谷、山口、三木、田幡、田村、山口○上板町○梶本、森○鳴門市○久龍、浜田、山田、竹内、米田、○阿波市○上村○阿南市○藤川○吉野川市○日出○松茂町○片岡

不用品を持ち込んで下さった方々

○徳島市○坂本、山本、団、藤岡、西岡、林、田村、篠原、加納、美馬、八木、平田、渡辺、芦田、坂口、照本、和泉本、井上、新開、武市、後藤、ダック引越センター、片山、楠本、亀井、田岡、竹内、木下、津田、松岡、坂東、林、小笠原、新納、近藤、山口、渡辺、岡部、三好、蔵本、大橋、内藤、和田、東山、増原、杉本、立道、宮本、佐藤、東口、松本、井出、大泉、川野、原、片岡、前田、西野、富永、米澤、田中、中村、島尾、坂野、陽地、水口、多智花、小野、山田、杉井、湯浅、中西、萬山、清水、内藤、濱田、榎、上窪、黒川、松浦、荒木、北、溝口、高橋、三枝、三宅、泉田、森本、亀島、佐野、榎本、森積、久米川、原田、庄野、安岡、猪児、佐古小PTA、岩本、北浦、岩森、露口、熊本、藤本、河崎、岩脇、志摩、多田、柴山、川辺、吉田、福永、通、徳島教会、井野、鎌田、部家、谷、河原、三原、大栗、浅見、児玉、木田、津川、白木、小室、楠川、岸本、藤田、井藤、小西、木田、玉置、大代、生田、玉野、中村、武田、竹上、吉岡、JSセンター、中川、鈴江、原田、生駒、宇山、南、福井、稲井、(有)スズエ商事、上野、小森、大井、岡島、堀井、黒川、黒嶋、脇村、福山、樋田、小林、河野、高橋、森下、井上、灰田、森近、小川、原、大野、坂本、織原、近藤、小路、村瀬、山上、賀川、堀金、濱田、久次米、森北、宇野、富永、宇山、斎藤、鈴江、村田、森下、溝内、団、新居、細束、斉藤、堤、中野、名川、荒井、中川、杉本、北村、吉崎、福原、知野、富永、西岡、昼間、井内、幸田、土佐、岩井、金村、宮本、菊池、芳川、三木、久米、松村、荒木、岸田、井上、久保、高木、三浦、桑原、大林、生駒、鈴江、三井、藤本、岡田、原塚、平田、高橋、伊原、西野、リュウケ、中川、田山、ナガサキヤ、笹原、中河、田所、岩瀬、松浦、内藤、濱田、白川、久米川、大山、北橋、池田、三好、佐藤、西本、手塚、楠川、谷本、青山、中村、姫野、吉田、大栗、杉本、月岡、矢川、小川、今津、五島、岸、松尾、羽紫、高松、黒岩、山本、近藤、馬場、中原、山田、



詩の朗読とギターのコラボレーション

笹田、木野内、中山、大西、四宮、八木、折野、武岡、和田、太田、馬瀬、後藤、法士、上杉、蔭山、岡部、山内、高木、秋野、森、丸山、島本、大手、佐伯、上原、川人、野澤、多田、千崎、佐野、上家、山内、西田、志村、堀口、酒井、磯野、西川、水原、弘田、福田、ナーサリ-富岡幼稚園、村本、大林、矢野、鎌谷、沖洲小学校 PTA、加茂名小学校 PTA、奥野薬品、置田、国府小学校 PTA、岩井、桜井、大櫛、大谷、高木、上田、平土、熊本、坪井、長沢、中尾、中原、小松、立石、宇山、○吉野川市○板野、中西、青木、大倉、森久、吉田、森本、加本、阿部、沖津、松岡、三瀬、松下、岡田、井内、前野、麻植、山口○石井町○酒井、立川、小川、吉岡、大倉、岡、かさい歯科医院、船井、松田、久米、鈴江、森、中野、生田、勝浦、井内、岡本、田中、片岡、大草、佐藤、山口、清水○藍住町○阿部、富田、森、大野、三好、大寺、浜、新居、佐藤、大塚、泰、渡辺、河村、武沢、萬藤、小笠原、岡久、小西、熊本、橋本、上崎、石上、入山、高田、山下、高橋○阿波市○岩野、大牛中西、北尾、森本、岡田、渡辺○上板町○金岡、辻本、鈴田、藤本、快樂、原、稲井○板野町○近藤、中原、井上、稲垣、五條、森本、山本、○松茂町○中西、岡、中野○鳴門市○藤本、櫻、浜田、林、渡辺、濱堀、玉木、笠井、橋本、浦川、大江、森脇、藤澤、芝本、山田、安、土井、樫原、筒井、奈良○北島町○大久保、浜村、橋田、石井、岩木、東、濱口、笠井、北峰、福原、江富、小坂、浜村、森、矢田、岡本○阿南市○藤井、布川、佐野、多田、石川○勝浦町○宮浦○香川県○吉村、六車○美馬市○村上、黒岩○神山町○香川、高田○海陽町○神沢○小松島市○岩本○愛媛県○柏木○大阪市○原○東京都○本田

当会が火災に遭った際、NPO活動成果発表会 2005（主催：徳島市市民活力開発センター）で入賞された下記の団体の皆様が、副賞の文具券（1万円分）を当会に寄贈して下さいました。

頂いた文具券でコピー用紙（再生紙）を購入し、本機関誌の印刷に使っています。

- NPO法人徳島共生塾一歩会
- NPO法人阿波グローバルネット
- NPO法人シニアパワー・ネットワークとくしま
- ヒッポ・ファミリークラブ

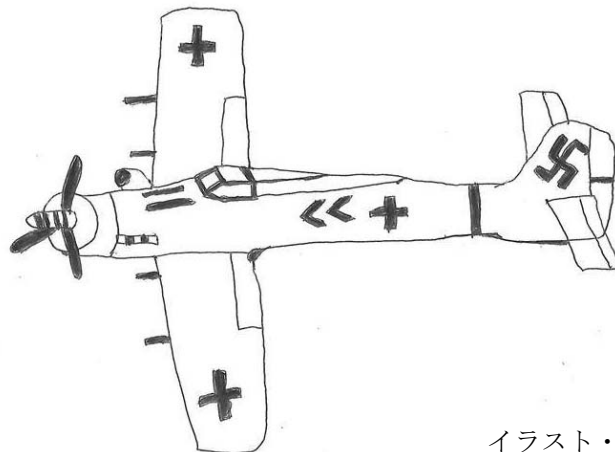


市民の皆様からご提供頂いた品物は、まずテーブルの上に並べ（品出し）選別します。

作業倉庫

自分は去年から作業倉庫で品だしと選別とお客さんのたいよの仕事をしてます。午前中はお客さんは少なく午後から持ち込みや買物にくるお客さんは多いです。

フックェウルフ Fw190A-4



イラスト・文：藤田さん

編集後記～作業所がNPOになるへ～

障害者自立支援法が施行されて2年、徳島でも、これまで任意団体（親の会、運営委員会等）が運営してきた障害者地域共同作業所（小規模作業所）がNPO法人格を取得し、地域活動支援センターに移行するケースが増えてきました。

その理由の一つは、法の施行と同時に国庫補助の110万円が打ち切りとなり、その代わりとなる補助金を受けるためには、地域活動支援センターになる必要があったからでした。

法の施行前、徳島県内の作業所44か所のうち、35か所は運営主体が任意団体でした（他社会福祉法人5か所、NPO法人3か所、財団法人1か所）。法の施行後、22か所がNPO法人の認証を受け、1か所は個別給付事業、残りは地域活動支援センターに移行しました。

作業所（運営主体）がNPO法人になるということは、単に契約の主体が代表者個人名義から法人名義へと変わる、ということではありません。

まずNPO法人としての事業報告・収支決算報告及び法人登記、理事会等の組織整備が必要となります。次に税務関係の手続き（法人税の申告、源泉徴収）、さ

らに労務関係の手続き（職員の社会保険・労働保険）も必要となってきます。

これらは、事業所としてはむしろ当たり前のことです。しかし、徳島のように作業所への助成金が少ないところでは、任意団体運営の作業所の多くは保護者やボランティアが手弁当、持ち出しで何とか運営を維持している状況です。

人件費節約のために所長を無給にしても、専任指導員の月給が10万前後という所が多いため、若手職員の定着は難しく、年金受給者、主婦といった方々が職員を中心となっています。

「事業所としては当然のこと」は長期的な視野に立てば、組織としての基盤の強化、対外的な信用の増加、事業展開の広がりにつながる面もあり、決してマイナスばかりではないのですが、短期的には、付随して発生する必要経費、事務処理コストをいかに捻出するか、という現実には直面します。

「個別給付事業に移行すれば？」という声も聞こえてきますが、補助金が増える代わりに行政の縛りも強くなります。

「そもそも、県内の地域活動支援センターがすべて個別給付に移行できるの？」（小山）

特定非営利活動法人 太陽と緑の会

私たちは生態系のリサイクルを含めたリサイクル・リユース活動を、様々なハンディを持ったメンバー達の地域活動支援センター・地域共同作業所とリンクさせて、行っております。地域の中で「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしにかかわらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々（市民、ボランティア、行政）の支えを頂きながら年間300日、土、日、祭日を含めた、日常活動を行っています。

発行：特定非営利活動法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島県徳島市国府町南岩延107-1
TEL・FAX 088-643-1054（事務局）
TEL・FAX 088-642-1054
（不用品リユース・地域活動支援センター）
URL <http://www2.ocn.ne.jp/~t-midori/index.htm>
E-MAIL t-midori@jeans.ocn.ne.jp

代表理事 杉浦良 編集 小山 隆太郎
編集サポート 岡田 郁子
年会費：正会員1万円 準会員1,000円
郵便振替口座：01620-8-44703
※この機関誌は再生紙を使用しています。